

災害時も地域の生活を守る

食品スーパーにLPガス災害バルクと発電機設置

株式会社タカラ・エムシー「フードマーケットマム若松店」(静岡県静岡市)

災害時に食料と電源・熱源を提供

静岡県を中心に食品スーパーを展開する株式会社タカラ・エムシーは、静岡市の「フードマーケットマム若松店」にLPガス災害バルクと発電機を設置し、食料と電源・熱源を提供できる地域の一次避難場所としての体制を整えた。

同社は東日本大震災以降、災害策定を推進し、非常時には現場に権限を委譲する体制などを構築している。LPガスで非常時の電源と熱源を確保する設備を知り、導入することにした。

地域町内会と災害協定を締結し、災害時には一次避難場所として店舗や駐車場に避難してもらう。LPガス発電機による電灯や電源のほか、ガスストーブやコンロなどの設備を備え、避難者に店舗内の食料や飲料水を提供していく。

ユーザーの声

株式会社タカラ・エムシー
代表取締役社長

上野 拓 さん



導入で地域自治会から感謝

東日本大震災の時は神奈川エリアの責任者をしており、輪番停電も経験しました。私たちは商品の供給が命ですが、幸い当社グループは中部圏が地盤だったことで調達が可能でした。それでも当時は混乱しており、私自身がトラックで現地まで牛乳を取りに行ったこともありました。

今回の設備導入は、地域自治会からも感謝されました。閉店時間帯の災害時にも近隣住民に活用して頂けるよう、使い方を説明して非常用コンセントボックスの鍵をお渡ししています。

また、愛知県内のグループ店舗にも同様の設備を設置しました。引き続き他の店舗での導入も検討していきます。

設置機器

- ・災害バルク貯槽 (1t)
- ・非常用LPガス発電機 (125kVA)
- ・LED投光器×3台
- ・ガス赤外線ストーブ×2台
- ・鋳物コンロ×5台
- ・非常用コンセントボックス



フードマーケットマム若松店



屋上に設置した
災害バルク貯槽と発電機



非常用コンセントボックス